

平成27年度管外行政視察復命書  
(無所属 未来・維新合同)

1. 期 日

平成28年1月13日(水)～15日(金) 2泊3日

2. 視察先及び研修事項

1月13日	茨城県	那珂市	那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
1月14日	〃	石岡市	新庁舎建設基本計画について
1月14日	〃	土浦市	全国花火大会について 筑波山ジオパーク構想について
1月15日	東京都銀座熊本館		特産品の販売促進について

3. 研修内容

①茨城県 那珂市は、東京の北東約100km、茨城県のほぼ中央で、人口53,587人、面積97,82km<sup>2</sup>、人口密度570,03人、高齢化率24,7%、経常収支比率90,0%、財政力指数0,64、住み良さ総合40位

[研修内容] 那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1. 開 会 (那珂市議会事務局)
2. 挨拶 (那珂市議会議員 君嶋としお様) 議会として、対応して頂いた。  
(那珂市企画部長 関根芳則様) 企画部で対応して頂いた。  
(八代市議会無所属未来代表 山本幸廣) 会派を代表して、挨拶を述べた。

3. 調査研修 次の事項について、事前に調査項目として、通知した。

- (1) 総合戦略策定の経緯 (内部組織、委員会設置、アンケート調査、パブリックコメントその他)
- (2) 戦略の内容 (人口ビジョン含む)
- (3) 特徴的な事業
- (4) 地方創生先行事業及び新型交付金について

◎上記の調査研修依頼により、別紙資料1～3-3及び「那珂市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」により、詳しい説明がなされた。(55分)

説明者 那珂市 企画部 関根芳則部長  
企画部次長兼政策企画課 篠原英二課長  
〃 〃 浅野課長補佐

4. 質疑応答 (35分)

Q：事業費の確保について及び年度別事業費について

A：事業費の確保については難しい問題であるが、平成28年度については当初予算で財政課と調整した。29年度以降については、28年度で検討調整する。

Q：議会からの意見やパブリックコメントで変更した項目があるか。

(議会から)・市外への転出を防ぎ、那珂市に戻る為の奨学金の設置

・空き家対策、利活用

・小児科医院の誘致

・待機児童の解消

・小中一貫連携教育の実施 等々

A：一部見直し、計画に掲載したものがある。

Q：大型商業施設の中心商店街への影響は。

- A：中心商店街は後継者不足により沈滞。  
大型商業施設との連携協力が必要。
- Q：企業誘致と農振地域との関係
- A：工業団地（工業専用地域）に誘致する。まだ、埋まっていない。
- Q：農家の担い手、後継者対策について
- A：行政としては難しい。やる気のある若者の育成。農地の集約化を図る。
- Q：既存企業に対するインセンティブは、あるのか。
- A：現在操業中の企業に対する助成は無い。
- Q：高校生に対するアンケート調査結果は。
- A：高校生の考え方が把握できたことは、良かった。
- Q：財政計画は。
- A：各課とヒヤリングを行い、3カ年の実施計画で明らかにする。
- Q：来年度以降の新型交付金の充当は。
- A：那珂市では、難しいと考えている。地方創生加速交付金を考えている。

5. 閉 会（八代市議会 維新代表前垣信三）会派を代表してお礼を述べ、閉会した。

#### 6. 所見

- ・国が示した方向性により、策定しているので戦略そのものに斬新性は感じられなかった。（全国画一的・・・八代市も）
- ・その中で、新規、拡充事業は多い。しかも、現実的と感じた。
- ・東京（大都市）から近距離という、地の利がある。情報格差を感じた。人口減少にある程度歯止めがかかるかも。
- ・将来コンパクトシティに、相応しい地域である。
- ・議会や市民の意見を大切にしている。

②茨城県 石岡市は茨城県の中央、霞ヶ浦北岸に位置する商業・田園都市で人口76,713人、面積215.53㎏、人口密度361.75人、高齢化率25.41%、経常収支比率90.5%、財政力指数0.60、住みよさ総合483位

[研修内容] 新庁舎建設基本計画について

1. 開 会（石岡市議会事務局）
2. 挨拶（石岡市議会議長歓迎挨拶）塚谷重市議長より歓迎のご挨拶が述べられた。  
（八代市議会維新代表 前垣信三）会派を代表して、挨拶を述べた。
3. 次の事項について、事前に調査項目として、通知した。
  - (1) 基本計画策定の背景（内部組織、委員会設置、コンサルタント委託等
  - (2) 議会の関与
  - (3) 計画の内容・スケジュール等

◎上記の調査研修依頼により、別紙資料「石岡市新庁舎建設基本計画について」資料1～資料6及び石岡市新庁舎建設基本計画により、丁寧な説明がなされた。（55分）

説明者 石岡市財務部 管財課 飯田修久課長

庁舎建設推進室 林 秀憲課長補佐兼室長

〃 峯 宣久係長

#### 4. 質疑応答（35分）

Q：建物規模概ね9,000㎡の根拠は。

A：平成22年まで示されていた「総務省算定基準」で算定すると、10,000㎡となる

が将来の人口減少による職員数の、減少を考慮し 9, 000 m<sup>2</sup>としている。

Q : 概算事業費：建物本体工事費 45 億円の根拠は。

A : 最近の建設物価の動向、他自治体の事例等を考慮し 50 万円/m<sup>2</sup>としている。  
しかし、東京オリンピックで資材や人件費が高騰する恐れがあることから、収まらない場合も考えられる。

Q : 建設スケジュールの予定は。

A : 震災復興特別交付税が、5 年間延長になったので 28 年度着工 30 年度末完成を目指している。

Q : 新庁舎建設懇話会からの提言された、コスト削減のため矢郷総合支所の議場を利用することは、決定か。

A : 議会と協議の結果、合併協議の協定もあり議会の機能は本庁舎とする事に決定。

Q : 他の部署、例えば教育委員会や農林水産部等を、矢郷総合支所におくことは検討されなかったのか。

A : 矢郷総合支所は、本庁舎より約 10 km の距離で床面積が 7, 500 m<sup>2</sup> あり比較的新しいので、現在と同じく「教育委員会」と「経済部」を置くことにしている。

Q : 地元産木材の利用が提案されているが、どのような考えか。

A : 具体的な材積等詳細は、これからの実施設計で示されると思っているが室内の天井や壁などに、木材を使用したいと考えている。

Q : 実施設計のプロポーザルに参加した、業者は何社か。

A : 7 社が参加し、その内 1 社に絞った。

Q : 基本計画の策定した業者は、実施設計のプロポーザルに参加したか。

A : 参加したが選ばれなかった。

Q : 担当として一番苦労したところは何処か。

A : 平成 26 年度検討委員会・市民懇話会・議会特別委員会が頻繁に開かれ、意見の取りまとめ、調整が大変だった。

Q : 完成後のランニングコストの検討は、行ったか。どの時点で行ったか。

A : 実施設計の時点で行った。冷暖房等についても充分検討した。

5. 閉会 (八代市議会 無所属未来 代表山本幸廣) 会派を代表してお礼を述べ、閉会した。

## 6. 所見

- ・先ず、本庁舎は丁度解体中であつたため、事務所は仮庁舎であつた。にも拘らず丁寧な対応をして頂いた。
- ・基本構想は、東北大震災の被害を受け急ぐ必要があつた為、基本計画から取り組んだとの説明があつたが、震災まえから充分取り組まれていたと感じた。
- ・基本計画策定に当たっては、内部検討委員会・市民懇話会・議会特別委員会が積極的に開催されたと思う。又、その提言が生かされていると感じた。
- ・コスト削減と既存施設の有効利用の観点から、矢郷総合支所を「教育委員会」や「経済部」に活用されることは、賢明な判断と感じた。
- ・完成イメージ図 (全体パース)、建物断面図、主な仕様書等は、基本計画で示されていたが、今回頂くことは出来なかった。筑波山の山並をイメージした建物だと、説明があつた。

③茨城県土浦市は、東京から 60 km 圏域。霞ヶ浦西岸に位置し、人口 141, 501 人、面積 122.89 km<sup>2</sup>、人口密度 1, 157.5 人、高齢化率 22.22%、経常収支比率 87.

4%、財政力指数0.87、住みよさ：総合141位

[研修内容] I. 全国花火大会について II. 筑波山地域ジオパーク構想について

1. 開 会 (土浦市議会事務局)
2. 挨拶 (土浦市議会議長歓迎挨拶) 矢口 清議長より歓迎のご挨拶が述べられた。  
(八代市議会無所属未来代表 山本幸廣) 会派を代表して、挨拶を述べた。
3. 次の事項について、事前に調査項目として、通知した。

- I. 全国花火大会について
  - (1) 観客数、事業費、財源、経済効果等
  - (2) 問題点・課題等
  - (3) 今後の方向性
- II. 筑波山地域ジオパーク構想について
  - (1) 構想策定の背景
  - (2) 構想の内容
  - (3) 問題点・課題等
  - (4) 今後の方向性

◎上記の調査研修依頼により別紙資料、八代市議会行政視察「土浦全国花火競技大会」及び「筑波山地域ジオパーク構想」により、丁寧な説明がなされた。(65分)

説明者 産業部 商工観光課 飯村 甚課長 (全国花火競技大会)

〃 北島康雄副参事

〃 中村 良

地域振興部 政策企画課 瀬古澤参事 (筑波山地域ジオパーク構想)

#### 4. 質疑応答 (25分)

Q：問題点・課題等に自主財源の確保とあるが、どのような財源を想定しているのか。

A：広告料収入、協賛金収入特に延長700mのワイドスターマインの広告料を見込んでいる。

Q：物産販売については、出店料や手数料は取っていないのか。

A：本市での物産販売は、観光協会のみなので手数料等は取っていない。八代市では取っておられるので、今後検討したい。

Q：安全な花火会場の確保を如何にするのか。

A：大きな検討課題になっている。4箇所が候補となっている。

Q：苦情が多いのは、どういったことか。

A：臨時トイレ750箇所設置している。トイレトペーパーが途中で切れる苦情が多いが、対応は難しい。

Q：観客数の把握、積算根拠は。

A：面積×人数で算出している。

Q：臨時列車の運行は。

A：上・下4本の臨時列車を運行して貰っている。

- 5 閉 会 (八代市議会 無所属未来 副代表友枝和明) 会派を代表してお礼を述べ、閉会した。

#### 6. 所 見

- ・説明を受けその規模が、さすが全国3大花火大会であると感じた。
- ・駐車場の確保や臨時トイレの設置など、課題は共有するものがある。スタッフ・ボランティアの確保、警察の協力等は必須である。

・筑波山地域ジオパーク構想については、認定もこれからであり今後の取り組みが期待される場所である。ただ、土浦市の観光入込客が花火競技大会等イベントに偏っているため、通年を通じた観光入込客を目指すためには、本構想は有力な手段と考えられる。再度、数年後研修したいと感じた。

④東京都 銀座熊本館は、昭和25年6月「熊本県東京事務所」として設置された。その後の沿革については別紙資料の通り。

[研修内容] 関東地方における八代市の特産品の流通状況及び今後の販売促進について

◎上記の調査研修依頼により別紙資料銀座熊本館の概要により、丁寧な説明がなされた。(60分)

説明者 東京事務所 くまもとセールス課 工藤 晃課長  
// 木原春菜参事

### 1. 質疑応答 (20分)

Q: 銀座熊本館の県職員の配置は、どの様になっているか。

A: 次長1人、くまもとセールス課8人、くまもとビジネス課4名、熊本県物産振興協会東京支部2名、計15名程度。八代市からも1人出向。

Q: 銀座熊本館で物産販売する場合は、熊本県物産振興協会の会員に加入する必要があるのか。

A: 必ずしも会員とは、限らない。ケースバイケースである。但し、会員の方が有難い。

Q: くまもんグッズの売り上げは全体の、何割ぐらいか。

A: 2~3割と考えているが、下降傾向にある。

### 2. 所見

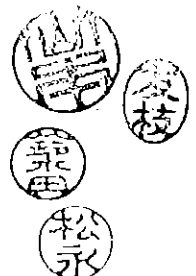
- ・銀座熊本館の1F~2Fの狭い売り場での、年間3億6千万円程度の売り上げは本当に素晴らしいと感じた。職員の努力が感じられた。
- ・熊本の青果物の取り扱い、輸送費がネックとの説明があった。ロットの問題等。
- ・青果物である大根、ニンジン、トマト、果物などは、現地のはば2倍と感じた。
- ・取り扱い商品千アイテムとは、驚いた。
- ・2Fあそび・バーで、熊本の焼酎・清酒と共に旬の食材を使った料理が楽しめることは、初めて知った。
- ・今後、中山間地域農業である泉町の特産柚子の大都市での、流通についてご支援を頂くようお願いした。東京市場での取り扱い実績も、示して頂いた。今後も、アドバイスを賜ることにした。
- ・生産地と消費地の情報の共有が、重要であると認識した。
- ・熊本を離れ大都市東京で活躍する県職員との、交流もたまには必要であると感じた。
- ・最後に、高知県のアンテナショップを木原参事に案内して頂き、店内を見学した。

上記の通り平成27年度管外行政視察研修の結果を復命します。

平成28年1月18日

無所属 未来 代表

山本 幸 廣  
友枝 和 明  
鈴木田 幸 一  
会 計 松 永 純 一



無所属 未来 代表 山本 幸 廣 様

1月13日 那珂市研修

山本代表の挨拶と存寸

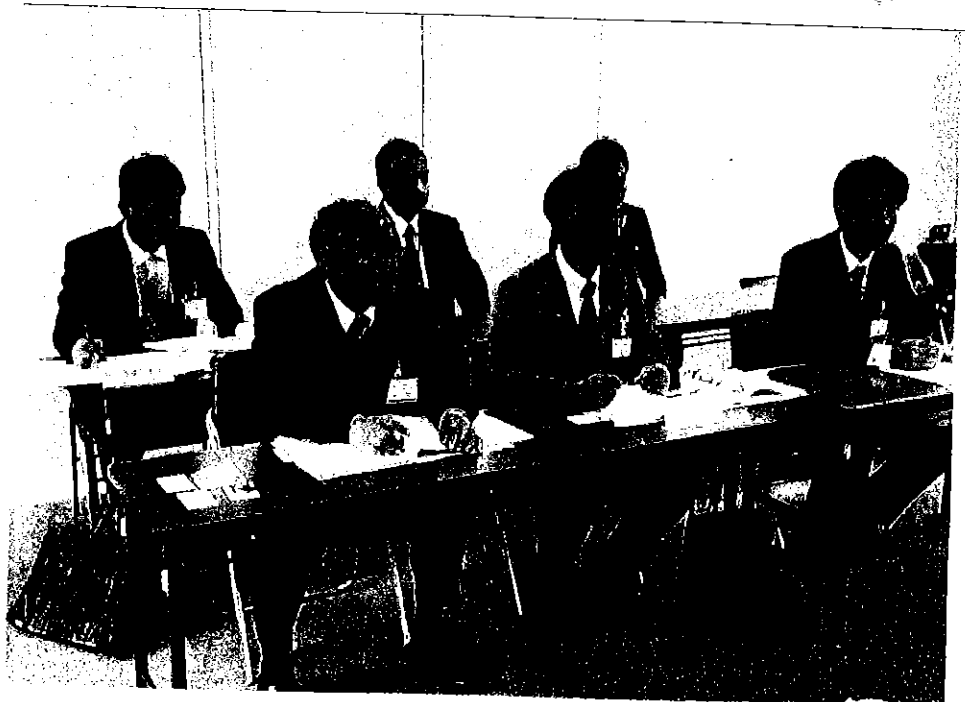
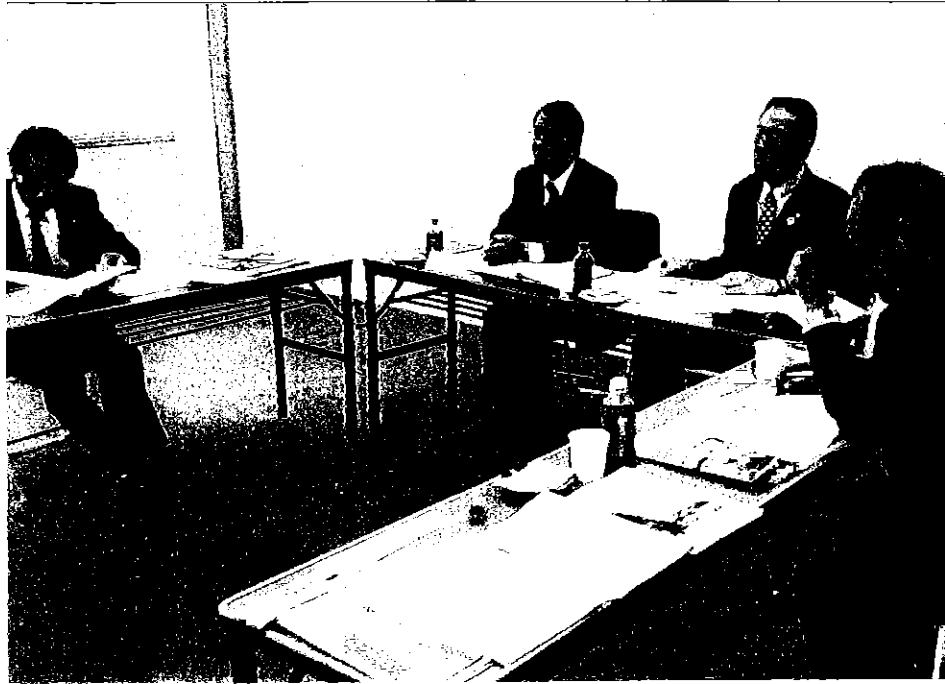


関根企画部長の説明  
左横が 君嶋と比市会議員

1月14日 石岡市研修

説明を受けた状況

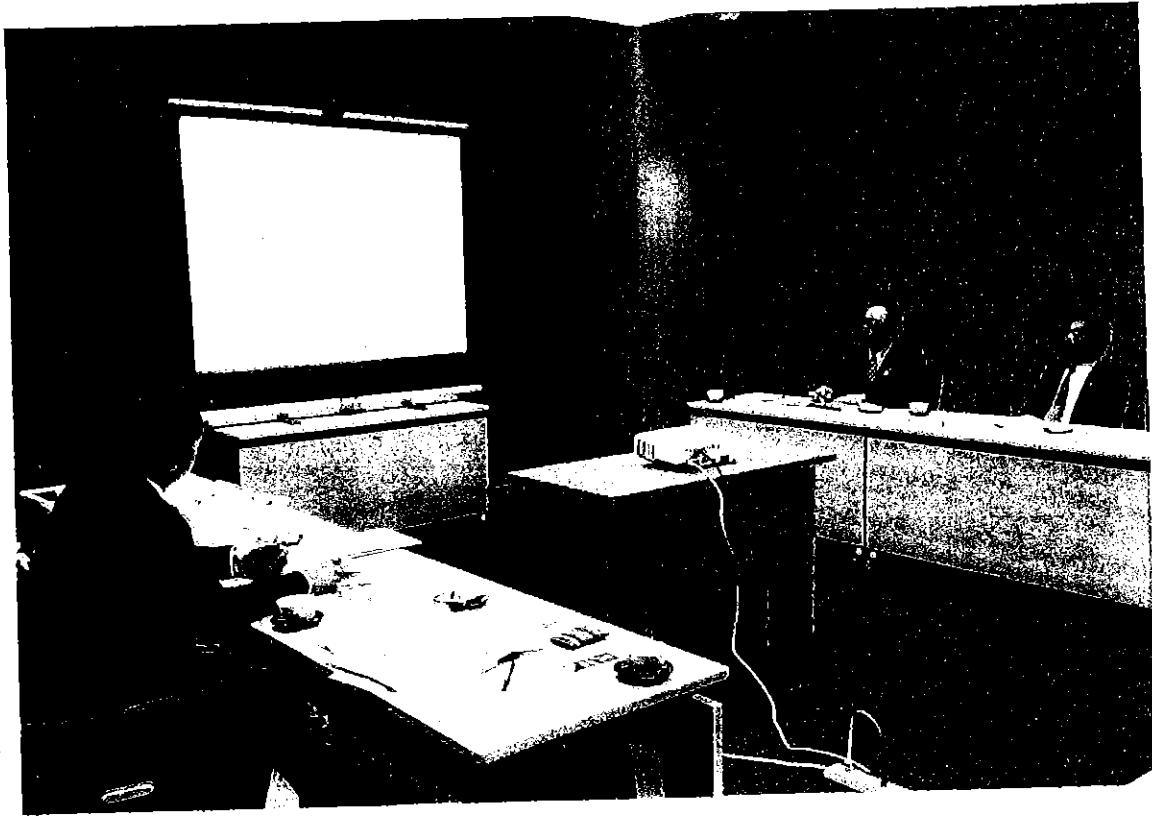
仮設庁舎の中



財務部 管財課 飯田課長他  
庁舎建設推進室 峯俣長 説明  
(右側)

1月14日 土浦市研修

画像に於説明を受けた



産業部 商工観光課 中村担当者説明

